

教 科	国語	単 位 数	4	学 科	普通科	学 年	1	全 選	全
科 目	国語総合								
使用教科書	改訂版高等学校標準国語総合（第一学習社）								
副 教 材 等	常用国語便覧（浜島書店） 基礎からの古典文法（第一学習社） 確かめやすい漢字の総仕上げ（浜島書店）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨きます。 3 言語文化に対する関心を深め、現代の文章や古典を読み、書物に親しむ態度を身につけます。
評 価 方 法	1 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・提出物・ノートなどの内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して100点満点で評価します。 2 評価の内訳は、中間考査と期末考査の成績が70%、漢字テストの成績が10%、プリント・ノートなどの提出物の内容と発表の仕方や内容、学習活動への参加の姿勢や態度が20%です。
生徒へのアドバイス	「国語総合」は新しい科目で、様々な形態の学習活動を行い、1年間の学習をとおして学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などを良く聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加してください。 また、毎時間、国語便覧や辞書（国語辞典、古語辞典）を必ず用意しておいてください。 評価については、上で説明したように様々な観点から行います。普段の授業の1時間1時間を大切にしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 進んで自分の意見や考えが表現できているか。 2 言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしたりしているか。 3 分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしているか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
話す・聞く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立てて話すことができるか。 2 相手のことを考えて、分かりやすく話すことができるか。 3 相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができるか。	1 学習活動への参加の姿勢や態度 2 プリント 3 ノート
書く能力	1 自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道立てて適切に文章を書くことができるか。 2 相手や目的に応じた適切な文章表現ができているか。	1 プリント 2 作文 3 定期考査 4 ノート
読む能力	1 目的に応じて様々な文章を的確に読み取ることができるか。 2 積極的に読書に親しんでいるか。	1 プリント 2 定期考査 3 ノート
知識・理解	1 音声、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けているか。 2 古典の時代背景や文化等を正確に理解しているか。	1 プリント 2 定期考査 3 漢字テスト 4 ノート

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1「書きたい気持ちを大切にしたい」 「自立と依存」	・話をよく聞き取る能力や態度を身に付けます。 ・論理的な文章を読み、その構成や論旨を的確にとらえながら筆者の思考を読み取ります。
		5	2「羅生門」	・文章中の人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、自分の生き方と照らし合わせて考えます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
	期 末	5	1古文入門 「児のそら寝」 (『宇治拾遺物語』)	・文語文法の基礎的なことがらを身に付けます。 ・音読を繰り返し、古文の読みに慣れます。
		6	「絵仏師良秀」 (『宇治拾遺物語』)	・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。
		7	2「毎月新聞」	・筆者のものの見方や考え方を文章の流れに沿って的確に読み取ります。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
	2 学期	中 間	9	1「水の東西」
10			2漢文入門 「格言」「故事成語」 「唐詩」「論語」	・漢文に対して親近感を持つことができるようになります。 ・漢文訓読の基本事項を身に付けます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
期 末		10	1「イースター島になぜ森がないのか」	・論理展開を正確に把握し、筆者独特の着眼点や洞察力によって述べられる思考内容を的確に読み取ります。
		11	2「詩歌」	・詩独特の表現をとおして作者の感じ方や考え方を理解し、詩の読解に対する積極的な姿勢を養います。
		12	3「竹取物語」「伊勢物語」 「徒然草」	・古文に対する親近感を持ち、昔の人のものの見方、考え方を味わいます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
3 学 年 末 期		学 年 末	1	1「夢十夜」
	2		2和歌 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	・短編小説の特色を理解し、人物の性格・心理・行動などを多角的に読み取ります。 ・和歌の修辞法を理解し、歌われている情景や心情を的確にとらえます。
	3			・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになります。
課題提出物等		1	授業の中で使用するプリントや作文など	
		2	ノート	
		3	夏休みの読書感想文	
		4	夏休みの課題（テキスト）	

教 科	地理歴史	単位 数	3	学 科	普通科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	地理 A								
使用教科書		高等学校 改訂版 地理 A 世界の暮らしを学ぶ（第一学習社）							
副 教 材 等		トレーニング地理（東京学習出版社） 地図（帝国書院）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 教材の内容及び用語の理解と習得を目指します。 2 地理的な理解方法と問題解決方法を身につけます。 3 上記 1・2 によって得られた知識・技能・思考方法の発展的応用を目指します。
評 価 方 法	考査評価を 70%，ノート・地理ワーク等の提出物を 30% で評価します。
生徒へのアドバイス	1 常に真剣に，まじめな態度で授業に臨んでください。 2 板書事項は欠かさずノートに写し，地理ワーク・課題プリント等の作業は必ず自分の力で行ってください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 現代世界の地理的事象について意欲・関心を持って学ぶことができたか。 2 国際社会に向けて主体的に行動できる態度を身に付けたか。	1 学習活動への参加の仕方や態度 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント
思考・判断	1 現代世界に起こる事象を地理的事象と関連付けて思考・判断することができたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 発表の内容や仕方
資料活用の技能・表現	1 地理的事象を追求するのに必要な資料を活用できる技能を身に付けたか。 2 学習で身に付けた事柄を適切に表現できる能力を身に付けたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント
知識・理解	1 現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し，知識を身に付けることができたか。	1 定期考査 2 『トレーニング地理』 3 作業プリント

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい	
1 学期	中間	4	第 章 現代世界の特色 第 1 節 球面上の世界と地域構成 [1]地球上での生活 [2]地球規模からみた世界 [3]世界的視野から見た日本の位置と領域	・球面上の世界から様々な世界地図をイメージします。 ・地図の種類と用途に応じた利用の仕方を工夫します。 ・国家の領域 北方 4 島の領有の推移 ・地図図法を変えて地球を眺めてみます。 ・様々なメディアを通じて結びつく世界 ・労働力の移動 外国人労働者の発生 ・移民・難民とは何かを考えます。 ・国家間の物の流れ ・地域間の結合の深まり	
		5	第 2 節 結びつく現代世界 [1]交通・通信の発達により一体化する世界 [2]交通の発達により交流する世界 [3]世界の貿易 [4]国家間の結合		
	期末	5	第 3 節 多様性を増す人間行動と現代世界 [1]経済発展と消費・余暇活動 [2]人間活動を知る身近な情報	・南北問題の現状 ・国内にみる消費行動 ・余暇や豊かさについて考えます。 ・リゾート開発の意味そしてその後 ・身近な国際化 ・日本に住む外国人と外国に住む日本人	
		6	第 4 節 身近な地域の国際化の進展 [1]身近にみられる国際化 [2]日本と世界との交流		
		7			
	2 学期	中間	9	第 章 地域性から見た現代世界の課題 第 1 節 生活・文化と環境 [1]人々をとりまく地形 [2]人々をとりまく気候 [3]世界の民族と文化	・大地形 地震と火山の分布，プレートテクトニクス ・人間の生活舞台としての平野 ・地球上の気候の位置とそれぞれの生活 ・文化・人種・宗教と民族 ・アングロアメリカとラテンアメリカ ・イスラム教が支配する世界
			10	[4]アメリカの生活文化と環境 [5]西アジア・北アフリカの生活・文化	
期末		10	[6]E U の生活・文化と環境 [7]オーストラリアの生活・文化と環境	・ヨーロッパの統合<EU> ・自然と先住民族そして白豪主義 ・東アジアと東南アジアの概念 ・韓国の地誌概観 ・中国の地誌概観 ・ロシアの地誌概観	
		11	第 2 節 近隣諸国の生活・文化と日本 [1]近隣諸国の学習 [2]韓国の生活・文化と日本 [3]中国の生活・文化と日本		
		12	[4]ロシアの生活・文化と日本		
3 学期		学 年 末	1	第 3 節 諸地域からみた地球的課題 [1]地域的課題の出現と地域性 [2]人口問題 [3]居住・都市問題	・地球的視野と地域的視野 ・人口問題の基礎 ・都市とは 都市問題と都市政策 ・食料生産と分配のアンバランス ・資源の分布・消費のアンバランス ・グローバルな問題 環境汚染の実態 ・国際協力と日本の役割
			2	[4]食料問題 [5]資源・エネルギー問題 [6]環境問題	
	3		[7]相互に関連する地球的課題		
	課題提出物等	1	授業中の板書事項のノート提出		
	2	『トレーニング地理』の提出			
	3	授業中使用する作業プリントの提出			

教 科	数学	単 位 数	4	学 科	普通科	学 年	1	全 選	全
科 目	数学								
使用教科書	新版数学（実教出版）								
副 教 材 等	数学 サブノート（実教出版）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解させ、基礎的・基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
評 価 方 法	1 中間考査、期末考査、小テスト、プリント及び課題、授業態度、出席状況、その他などで評価します。 2 学期及び学年の評価は、原則として中間考査と期末考査の成績で70%、その他の項目で30%の配分で評価します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容全般において数学の基礎的な知識の習得と習熟を図りますが、その内容が2・3年生に継続していく大切な教科です。 ・ノートは、単に板書を写すだけでなく、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。 ・例題等を参考とし積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数の体系を拡張することに興味を持っているか。 ・式の計算を通して、式の見方を豊かにし、1次不等式や2次方程式を活用できているか。 ・関数の考え方を具体的な事象の考察に活用できるか。 ・不等式の解を求めるにあたり、グラフを活用することのよさを認識しているか。 ・角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、具体的な事象の考察に活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業で使用するプリント ・授業ノートの整理 ・問題演習への取り組み
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・数の体系を拡張することの意義を理解しているか。 ・式を目的に応じて変形したり置き換えをする意味を理解しているか。 ・方程式、不等式の解の意味と違いを認識しているか。 ・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識しているか。 ・図形の計量の考え方について理解しているか。 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
表 現・処 理	<ul style="list-style-type: none"> ・式を目的に応じて変形したり置き換えをすることができるか。 ・1次不等式、2次方程式の解を求めることができるか。 ・2次関数のグラフをかくことができるか。 ・グラフが特定の条件を満たすとき、その関数を求めることができるか。 ・三角比の性質や正弦定理、余弦定理などを平面図形や空間図形の計量に利用できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・授業で使用するプリント ・質問に対する発表の内容 ・演習問題プリント
知 識・理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・数の概念について理解を深めているか。 ・不等式の性質を基にして、1次不等式の解を求められるか。 ・2次方程式についての理解を深め、解の公式を用いて2次方程式の解を求められるか。 ・2次関数について理解を深め、グラフを最大、最小などの問題や2次不等式を解くことに活用できるか。 ・三角比の意味や図形の計量の基本的な性質について理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1章 数と式 1節 整式 1. 整式とその加法・減法	<ul style="list-style-type: none">・整式の加法・減法・乗法、及び因数分解を扱い、目的に応じて式を1つの文字に置き換えたりすると複雑な式が簡単な式に帰着でき公式などを利用して能率よく計算できることなどを理解し、式の見方を豊かにします。・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や無理数の計算の基本的な考え方について理解を深めます。・不等式の性質や解の意味を理解し、1次不等式を解くことができるようにします。また、それを具体的な事象の考察に活用できるようにします。・2次方程式の解法について習熟し解の公式を利用して2次方程式を解けるようにします。
		5	2. 整式の乗法 3. 因数分解	
	期 末	5	2節 実数 1. 数の集まりと四則 2. 平方根を含む式の計算	
		6	2章 不等式と方程式 1節 不等式 1. 不等式 2. 不等式の性質 3. 1次不等式 4. 連立不等式 2節 2次方程式 1. 2次方程式の解法 2. 2次方程式の解の個数	
		7		
2 学期	中 間	9	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1. 関数 2. 2次関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none">・関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察に活用できるようにします。・2次関数について理解し、平行移動の考え方を利用して、そのグラフの概形をかけるようにします。・与えられた放物線のグラフからその2次関数を求められるようにします。・2次関数の最大・最小を理解し、それを具体的な事象の考察に活用できるようにします。・2次関数のグラフとX軸との位置関係を利用して、2次方程式や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式を解くことができるようにします。
		10	3. 2次関数の決定	
	期 末	10	4. 2次関数の最大・最小	
		11	2節 グラフと方程式・不等式 1. グラフと方程式 2. グラフと不等式	
		12	問題演習	
3 学 年 期	学 年 末	1	4章 三角比 1節 三角比 1. 三角比	<ul style="list-style-type: none">・直角三角形における三角比の概念を導入し、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解を深めます。・角を基にして測るという数学的な見方や考え方のよさを認識します。・三角形の面積の公式や正弦定理・余弦定理を活用して、平面や空間における図形の辺の長さや角の大きさ及び面積について考察できるようにします。・相似比と面積比や体積比との関係について理解します。また、球の体積を利用して、球の表面積の公式を導きます。
		2	2. 三角比の性質 3. 三角比の拡張	
		3	2節 三角比と図形 1. 三角形の面積 2. 正弦定理 3. 余弦定理 4. 正弦定理・余弦定理の応用	
			3節 図形の計量 1. 面積比と体積比 2. 球の体積と表面積	
課題提出物等			春季休業中及び夏季休業中の課題。 必要に応じてノート及び授業中に使用したプリント等。	

教 科	理科	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	1	全 選	全
科 目	化学								
使用教科書	改訂版新編 化学 （数研出版）								
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 基本的な概念や原理・法則を理解します。 2 身の回りの化学物質について、実験、観察など通してより深く理解するとともに化学が日常生活にもたらす恩恵とマイナス面を自ら考え、化学への関心と自然に対する探求心などを育てます。 3 科学的な自然観を養います。
評 価 方 法	1 中間と期末の定期考査、プリント、授業ノート、実験レポートなどの提出物、発表の仕方や内容、学習・実験活動への主体的な取り組み方で評価します。 2 各学期ごとの中間考査と期末考査の成績を 70%、提出物と学習活動へどれだけ主体的に取り組めたかを 30%の割合で配分し学期毎の成績とします。 3 各学期毎の成績を総合し、年間の学習成績とします。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の勉強ということだけでなく、いろいろな現象のもととなる物質とは何かや、自然に潜む法則性の発見、ものを作る楽しさなど、自分なりの楽しさを発見して下さい。どうか学習するにあたって公式の丸暗記ではなく、想像力を働かせて授業に臨んでください。 ・ノートは、板書をそのまま写すのではなく、自分なりに分かりやすく工夫をして記入をしたり、疑問を感じた点や追求したい事柄をメモしておくことで学習に広がりが生まれます。 ・不明な点や疑問があったら質問や意見を出してください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・自然の化学的な事物・現象について関心・探求心をもち意欲的にそれらを探求するとともに、態度を身につけようとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・実験レポート ・授業中で使用したプリント ・ノート ・提出物の出来具合
思考・判断	・自然の化学的な事物・現象に問題を見だし、実験・観察などを行うとともに、化学学的に探求する能力と態度が形成され、基本的な概念・法則を理解し、科学的な自然観をもつことができるか。	・定期考査の応用問題 ・実験レポートの出来具合 ・課題レポートの出来具合 ・授業中で使用したプリント ・ノート
観察・実験の技能・表現	・自然の化学的な事物・現象に関する観察・実験の技能を修得するとともに、それらを科学的に探求する方法として身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出された考えを的確に表現することができるか。	・実験レポート ・授業中で使用したプリント ・ノート
知識・理解	・観察・実験などを通して、自然の化学的な事物・現象に対して、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけているか。	・定期考査 ・実験レポート ・課題レポート

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	第1編 物質の構成と構成粒子 第1章 物質の構成粒子 A 原子と元素 B 電子殻と電子配置 C イオン	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成と構成粒子を理解します ・HからCaまでの電子配置を理解します ・電子移動とイオン生成の関係の理解します
		5	D 分子 E 単体と化合物 F 元素の周期律と周期表 G 物質の分類と性質 第2章 物質と化学反応式 A 原子の相対質量と原子量 B 分子量・式量 C 粒子の数と物質質量	<ul style="list-style-type: none"> ・三態変化を分子の状態を理解します ・元素の周期律と周期表を理解します ・物質を混合物・単体・化合物に分類できることを理解します ・アボガドロの法則を理解し計算問題に対応できるようにします ・物質と式量を理解し計算問題に対応できるようにします
	期末	5	D 物質と物質の質量 E 物質と気体の体積	
		6	F 溶液中に解けている物質の物質質量 G 化学反応と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・モル濃度と計算問題に対応できるようにします ・化学反応式の意味を理解し作成します
		7		
	2 学期	9	第2編 物質の変化 第1章 熱化学	<ul style="list-style-type: none"> ・熱化学方程式を理解します ・ヘスの法則を理解し数学の方程式と同じように扱うことに慣れるようにします
		10	第2章 酸と塩基の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基について身近なものを扱い理解します ・モル濃度、$[H^+]$、pH、電離との関係を理解します
		10	D 酸と塩基の反応 C 中和滴定	<ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の反応を理解します ・中和について量的に理解します
		11	第3章 酸化還元反応 A 酸化・還元 B 酸化剤・還元剤 C イオン化と電子のやりとり D 電池 E 電気分解	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化・還元の定義について理解します ・酸化数をいつでも求められるようにします ・酸化剤・還元剤を酸化数の変化から区別できるようにします ・イオン化傾向と金属の性質の関係を理解します ・電池の原理と歴史を理解します
3 学期	学 年 末	1	第3編 無機物質の性質 第1章 非金属元素の性質 第2章 典型金属元素の性質 第3章 遷移金属元素の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に行った元素の復習とその化合物、化学変化の例を主に理解します ・2学期に続き、いろいろな化学反応について理解します
		2	第4編 有機化合物の性質 第1章 有機化合物の性質 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコール化合物 第4章 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物とは何か、またその特徴について理解します ・脂肪族炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、カルボン酸について理解する ・ベンゼンから始まり、各芳香族化合物の合成法について理解します
		3		
	課題提出物等		1 授業の中で使用するプリント 2 授業ノートを指定された時期に提出 3 実験レポート (1)提出期限を厳守 (2)データの処理、考察、調べたことをまとめて提出	

教 科	保健体育	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	体育（男子）								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実戦を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊で活力のある生活を営む態度を育てます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・5割を一般体育、5割を武道で評価します ・実技だけではなく、出欠席や態度・服装等も考慮します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりとした服装で、積極的に授業に参加してください。 ・行動を機敏にし、安全に配慮してください。 ・仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。 ・遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとしているか。 公正・協力・責任などの態度を養い、健康・安全に留意しているか。	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫しているか。	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めているか。 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けたか。	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、 体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、 知識を身に付けたか。	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	体育：オリエンテーション / 集団行動 / 体育理論 体づくり運動 柔道：オリエンテーション・礼法 基礎体力 剣道：オリエンテーション・礼法 心得・体さばき	年間の概略を知ります。 / 秩序ある集団行動を身につけます。 / 体ほぐしの意義を理解します。 手軽な運動を通して、体をほぐします。 年間の概略を知ります。礼法を身につけ、基礎体力をつけます。 年間の概略を知ります。礼法や心得身につけ、体さばきを習得します。
		5	体育：体づくり運動 陸上競技 柔道：受け身 剣道：踏み込み足・構え	手軽な運動を通して、体をほぐします。 記録会やスポーツテストから自己の能力を知ります。 各種受け身を習得します。 踏み込み足や構えを習得します。
		5	体育：陸上競技 柔道：受け身 剣道：踏み込み足・構え	フォームを見直し、短距離走の記録を高めます。 各種受け身を習得します。 踏み込み足や構えを習得します。
	期末	6	体育：陸上競技 柔道：基本動作・投げ技 剣道：素振り	リレーの特性を知り、記録を高めます。 組み方・崩し・体さばき等を習得します。 素振り（正面打ち）を習得します。
		7	体育：陸上競技（記録会）・評価 柔道：約束練習・評価 剣道：素振り・評価	短距離走やリレーの競技会を行い評価します。 既習の技で約束練習、実技試験をします。 正面打ちを習得、実技試験をします。
	2 学期	9	体育：バスケットボール 柔道：投げ技 剣道：基本打突	基本技能を習得します。 投げ技を習得します。 面・小手・胴を習得します。
		10	体育：バスケットボール・評価 柔道：固め技 剣道：対人技能	ゲームができるようにします。 固め技を習得します。 対人で基本打突ができるようにします。
		10	体育：体育理論 サッカー 柔道：固め技 剣道：対人技能・二・三段の技	現代社会におけるスポーツの意義を理解します。 基本技能を習得します。 固め技を習得します。 対人で二段・三段の技を習得します。
3 学期	期末	11	体育：サッカー 柔道：約束練習 剣道：払い技	ゲームができるようにします。 投げ技・固め技を約束練習で発揮します。 払い技を習得します。
		12	体育：サッカー・評価 柔道：連続技・評価 剣道：引き技・評価	実技試験を行います。 連続技が出せるようにします。実技試験を行います。 引き技を習得します。実技試験を行います。
	学年末	1	体育：陸上競技（中長距離走） 柔道：約束練習 剣道：出ばな技	自己の能力を把握します。 約束練習で既習の技が発揮できるようにします。 出ばな技を習得します。
		2	体育：陸上競技（中長距離走） 柔道：乱取り 剣道：互角練習	自分の能力にあったペース配分で走れるようにします。 乱取りで既習技が発揮できるようにします。 互角練習で既習技を発揮できるようにします。
		3	体育：陸上競技・評価 柔道：評価 剣道：評価	タイムトライアルを行います。 実技試験を行います。 実技試験を行います。
	課題提出物			
	体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。			

教 科	保健体育	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	体育（女子）								
使用教科書		現代保健体育（大修館）							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実戦を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊で活力のある生活を営む態度を育てます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7割を一般体育、3割をダンスで評価します ・ 実技だけではなく、出欠席や態度・服装等も考慮します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ しっかりとした服装で、積極的に授業に参加してください。 ・ 行動を機敏にし、安全に配慮してください。 ・ 仲間との交流を深め自己表現能力を高めてください。 ・ 遅刻・欠席・見学はできるだけ避けてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで運動しようとする 公正・協力・責任などの態度を養う 健康・安全に留意する	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、工夫している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのカードの読み取り テスト
技能	運動技能を高めている 体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける	授業での態度の観察 スキルテストや記録会の結果分析
知識・理解	運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義等の基礎的な事項を理解し、知識を身に付ける	授業での態度の観察 個人カードの記述の読み取り

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中間	4	体 育：オリエンテーション / 体育理論 / 体づくり運動 ダンス：オリエンテーション 体ほぐし・レクダンス	年間の概略を知ります。 / 体力の高め方について理解します。 / 体力を高める運動を行います。 年間の概略を知ります。 心身をほぐし、コミュニケーションを深めます。
		5	体 育：体づくり運動 器械運動 ダンス：レクダンス・基礎理論 フォークダンス	体力を高める運動を行います。 自己の能力を知り、基本技を身につけます。 心身をほぐし、コミュニケーションを深めます。 動きを覚える。理論を理解します。
	期末	5	体 育：器械運動 ダンス：ほぐし・レクダンス フォークダンス・評価	マット運動の基本技を身につけます。 既習のダンスに習熟し、堂々と踊ります。
		6	体 育：器械運動・評価 ダンス：ほぐし・フォークダンス 現代的リズムダンス	マット運動の基本技を連続して行えるようにします。 動きを覚えて、リズムに乗って踊ります。
		7	体 育：器械運動 ダンス：現代的リズムダンス・評価	発表会を行い、評価をします。 動きを習熟させ、堂々と踊れるようにします。
2 学期	中間	9	体 育：ソフトボール ダンス：現代的リズムダンス	基本技能を習得します。 カウントがとれる創作の見通しを立てます。
		10	体 育：ソフトボール・評価 ダンス：現代的リズムダンス	ゲームができるようにします。 発表会に向けて、現代的リズムダンスを創作します。
	期末	10	体 育：体育理論 バスケットボール ダンス：現代的リズムダンス 発表・鑑賞	現代社会におけるスポーツの意義を理解します。 基本技能を習得します。 躍り込みと鑑賞方法を理解します。 鑑賞ノートに記入します。
		11	体 育：バスケットボール テニス ダンス：創作ダンスの習熟と表現	ゲームができるようにします。 基本技能を習得します。 テーマに合ったポーズとその変化・発展をさせます。
3 学期	学年末	12	体 育：バスケットボール・評価 ダンス：動きの記憶・定着・評価	ゲームができるようにします。実技試験を行います 表現した動きを定着させ、堂々と踊れるようにします。
		1	体 育：陸上競技（中長距離走） ダンス：小作品の創作	自己の能力を把握します。 仲間と創作の見通しを立て、動きを創ります。
		2	体 育：陸上競技（中長距離走） ダンス：小作品の創作	自分の能力にあったペース配分で走れるようにします。 動きをつくり、作品を完成させます。
3 学期	学年末	3	体 育：陸上競技・評価 ダンス：鑑賞ノート記入・評価	タイムトライアルを行います。 作品を堂々と発表するとともに、鑑賞力をつけます。
			体調不良等の理由で授業に参加できない（見学する）者については、別にレポートを課す場合があります。	

教 科	保健体育	単 位 数	1	学 科	普通科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	保健								
使用教科書	現代保健体育（大修館）								
副 教 材 等	現代保健ノート（大修館）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。
評 価 方 法	考査の成績や提出物、出席状況、授業への取り組み等を考慮して評価します。
生徒へのアドバイス	自らが健康な生活を実践したり、心の健康にも配慮したりする等、日常生活の中で健康を意識し、欠席・遅刻・早退等をしないですむようにしてください。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
思 考 ・ 判 断	個人生活や社会生活における健康・安全について課題の解決を目指して考え、判断している	授業への参加意欲の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト
知識・理解	個人生活や社会生活における健康・安全について課題解決のための事項を理解し知識を身に付けている	授業での態度の観察 個人やグループのノートの読み取り テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	1 単元：現代社会と健康 1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方	健康水準と疾病の変遷を理解します。 健康の側面や成立条件を理解します。
		5	3 さまざまな保健活動や対策 4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康	行政・民間・国際機関の諸活動を理解します。 生活習慣病とその予防法を理解します。 喫煙の健康影響とその対策を理解します。
	期 末	5	6 飲酒と健康	飲酒の健康影響とその対策を理解します。
		6	7 薬物乱用と健康 8 医薬品と健康	薬物乱用の健康影響とその対策を理解します。 医薬品の役割と使用上のポイントを あげられるようにします。
		7	評価	学期末考査
	2 学期	中 間	9	9 感染症とその予防 10 エイズとその予防 11 健康にかかわる意志決定
10			12 意志決定・行動選択に必要な もの 13 欲求と適応機制	意志決定・行動選択に必要なこと具体例で説明で きるようにします。 欲求の種類を知り、適応機制の例を説明できるよ うにします。
期 末		10	14 心身の相関とストレス 15 ストレスへの対処	心身相関とストレスを理解します。 ストレスへの対処法を理解します。
		11	16 自己実現 17 交通事故の現状と要因 18 交通社会における運転者の資質と 責任	自己実現を知り、自分の自己実現を考ます。 交通事故の現状と要因を理解します。 安全運転への資質と事故の補償を理解します。
		12	評価	学期末考査
3 学 年 末		学 年 末	1	19 安全な交通社会づくり 20 応急手当の意義とその基本
	2		21 心肺蘇生法 22 日常的な応急手当	原理・手順を理解し実践できるようにします。 手順・方法を理解し実践できるようにします。
	3		評価	学年末考査
課題提出物等 各種レポート				

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 / 選	選
科 目	音楽								
使用教科書	音楽1改訂版T u u t i (教育出版)								
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取りくむ態度を身につけます。 2 歌唱や器楽演奏を通して、表現する能力を養います。 3 様々なジャンルの音楽について、その歴史的・文化的な意味と価値を理解し、音楽を愛好する心情を育てます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70%、学習活動への参加の仕方や態度を30%として行います。
生徒へのアドバイス	1 毎時間授業に真剣に取り組むこと。 2 出来ることも大切ですが、音楽が好きなこと、また何事も一生懸命真剣に取り組むやる気の姿勢はもっと大切なことです。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	1 音楽上の幅広いジャンルに興味関心を高めているか。 2 意欲的に楽曲演奏に取り組んでいるか。	・音楽活動への参加の仕方や態度 ・授業のノート評価、プリント評価
芸術的な感受や表現の工夫	1 楽曲、音楽ジャンルの特質を良く自覚し、でそれが生み出す曲想や美しさを感じ取って、表現の工夫をしているか。	・実技テストの内容・評価 ・授業時における表現方法 ・鑑賞ノートの内容・評価
創造的な表現の技能	1 楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する力を身につけているか。 2 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技能を身につけているか。	・独創性・個性を実技テストで評価 ・授業時における表現方法
鑑賞の能力	1 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聞き取っているか。 2 音楽の文化的背景を理解し聞き取っているか。	・感想文の表現方法や内容 ・提出プリントの内容 ・鑑賞時の聞く態度

3 学習計画等

学期	考查	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	・授業ガイダンス ・＜校歌＞の表現 ・翼をください・上を向いて歩こう	・声を出すことの喜び、歌うことの楽しさを身につけ発声の基本を学びます。
		5	・ミュージカルナンバーより ・天使にラブソングより ・ピノキオより	・曲の内容を理解し表現につなげます。多少難しいリズムも曲調に合わせれば難なく歌えます
	期 末	5	・＜校歌＞歌詞テスト ・喜びの歌（ドイツ語） ・我が、太陽	・高校生になって新しい言語に触れます。また音楽言語に必要な巻き舌やイントネーションを学びます。
		6	・ We will rock you ・ Happy birthday to you	・耳慣れた曲をコーラスとして演奏し、音楽も持つハーモニー感を自然に習得します。
		7	・歌唱テスト ・既習曲に難易度をつけ、その中から生徒が1曲選び演奏します。	・自分の好みや声の音域にあった歌を選んでいるか。曲想の表現に工夫があるか。
2 学期	中 間	9	・＜ミュージックベル＞演奏 ・世界に一つだけの花（2部）	・楽器を丁寧に扱うよう指導します。 ・ベルを演奏することで自分のリズムだけではなく他の音にも神経を働かせ、演奏の喜びを味わいます。
		10	・ギター・キーボードよりどちらかを選択し演奏します。楽器の扱い方・基本奏法 ・姿勢等を学びます。	・楽器は常に丁寧に準備から後かたづけまで責任を持ってするように指導します。 ・楽器の基礎を学びます
	期 末	10	・ギターグレード進行 音階チェック c - g - c ロンドン橋 一週間 禁じられた遊び	・生徒によっては独学でやっている人もいますが、変な癖があればなるべく早めに取り、確かな奏法を学びます。
		11	・キーボードグレード進行 ダイアナ片手 ダイアナ両手 オブラディ・オブラディ片手 オブラディ・オブラダ両手 フラッシュダンス	・必ずリズムをつけて練習し、自分なりのリズム感を正確なリズムに直し、その上で音楽の楽しさを味わいます。
		12	・楽器テスト（ギター、キーボードのどちらか）各自選択	・各自がどれだけ出来るようになったか絶対評価で点数をつけます。 ・各自工夫や独創性があるか評価します。
3 学期	学 年 末	1	・カーロ・ミオ・ベン（イタリア歌曲） ・ウスキュダラ（トルコ民謡） ・アリラン（朝鮮半島）	・各国の歌に表現された文化的な特徴や地勢的な背景を学習します。
		2	・オーケストラの楽器、及び成立について ・島へ・早春賦・この道	・楽器群の種別・楽器の特徴を知ります。また時代によりオーケストラの変遷も学びます ・日本歌曲に親しみます。
		3	・音楽理論テスト・歌唱テスト	・音楽1の総括がしっかり出来ているかどうか確認します。
課題提出物等		・毎時間、CDやDVDなど5分足らずですが、鑑賞します。その感想は毎回提出し、プリントと共に平常点で評価します。		

教 科	芸術	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 / 選	選
科 目	美術								
使用教科書	美術 1（光村図書出版）								
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	基礎を学びながら、美術に対する興味、関心を深め、生きる喜びや自分のよさを感じとり、意欲的に豊かな創造活動に取り組む態度を身につけます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を 70%、学習活動への参加の仕方や態度を 30%として行います。
生徒へのアドバイス	あくまでも生徒が主体です。全員が一同に意欲的に創作活動ができるように、常に実技試験のつもりで授業を進めていきます。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的に学習活動に取り組むことができる。	学習活動への参加の仕方や態度。
芸術的な感受や表現の工夫	題材のテーマを理解しているか。テーマに合った形、色などをよく考えて独自の工夫し表現しているか。	提出作品
創造的な表現の技能	課題に対して感性や想像力を働かせて効果的な表現ができる。	授業への取り組み
鑑賞の能力	一人一人が自己の作品のみならず他人の作品に対しても、良さや美しさを味わい、自己の考えを率直に述べることができる。	鑑賞の態度および発表

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	オリエンテーション（美術について） （１）セル画	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の授業について理解します。 ・セル（透明板）を裏から彩色することによって色塗りの学習をすると共にアニメーションのしくみを理解します。 ・配色の方法等を学習します。
		5	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵制作 ・転写 	
	期 末	5	<ul style="list-style-type: none"> ・彩色 	
		6		
		7	（２）鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
2 学期	中 間	9	（３）アートガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・黒い画面をひっかく面白さと彩色の美しさを学習します。 ・画面に合う額をデザインします。
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵制作 ・転写 	
	期 末	10	<ul style="list-style-type: none"> ・切削 ・彩色 	
		11	<ul style="list-style-type: none"> ・額製作 	
		12	（４）鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
3 学 期	学 年 末	1	（５）パステル画	<ul style="list-style-type: none"> ・パステルの淡い画面を体験し、その技法を理解します。 ・パステルという材料を理解し、配色の勉強をします。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵制作 ・彩色 ・色鉛筆による加筆 	
		3	（６）鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がった作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞します。
課題提出物等		<ul style="list-style-type: none"> ・教材を用意。 ・決められた期日までに作品提出。 		

教 科	芸術	単位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 / 選	選
科 目	書道								
使用教科書		新編 書道 （教育出版）							
副 教 材 等		基本 ペン習字 （教育図書）							

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 2 書を楽しむ態度を通して、感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を高めます。 3 1と2の学習を通して、自己を主体的に表現する能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていきます。
評 価 方 法	学期全体の評価は実技活動に関わる分野を70％，学習活動への参加の仕方や態度を30％として行います。
生徒へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 書道の学習においては、まずよく見るのが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 2 技法の習得は主として古典の臨書によりますが、ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚、1字1字について「何が出来るようになったか」を大切にします。1時間の中での進歩，単元を通しての進歩，そして，1年間の学習を通しての進歩が感じとれるような学習への取組を期待します。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・書を愛好し，書の美しさに関心をもち，意欲的，主体的に活動を行い，その喜びを味わおうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品ファイルの整理状況 ・小テスト ・創作カード
芸術的な感受や表現の工夫	・感性を豊かにし，古典のよさや美しさを感じ取り，創造的な表現を工夫しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・ファイルの整理状況 ・創作カード
創造的な表現の技能	・漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書を通して，自己を主体的に表現する能力を伸ばし，実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・作品ファイルの整理状況
鑑賞の能力	・書が生活の中で果たしている役割，書の文化や伝統を幅広く理解し，そのよさや美しさを深く味わっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・ファイルの整理状況 ・創作カード ・発表

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	書道の学習を始めよう ・姿勢と執筆法 ・用具・用材	姿勢と執筆法，用具について知り，学習の意義とその方法を理解します。 「臨書」とは古典を手本として習うことです。
		5	1 漢字仮名交じりの書（１） ・書道に親しむ ・書写からの発展 ・様々な表現	身近な言葉や詩文を題材に漢字と仮名の調和を図り，字形・文字の大きさ等の全体構成を工夫することで自分の意図に基づく表現を試みます。
	期 末	6	2 楷書の学習 ・厳正と温雅 ・重厚と軽快 ・方勢と円勢	漢字の楷書の古典に基づく学習により書の多様な表現の可能性に触れます。 線質の表し方と用筆・運筆の関係を臨書学習により習得します。
		7	・楷書の細字	代表的な楷書の古典を鑑賞し，それぞれの古典について作者や時代背景などの知的理解を経て，基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を臨書学習により習得します。
2 学期	中 間	9	3 行書の学習 ・様々な行書 ・行書の特徴	行書の特徴について理解を深めます。 代表的な楷書の古典を鑑賞し，それぞれの古典について作者や時代背景などの知的理解を経て，各古典の特徴を把握することにより行書の基本的な用筆法を習得します。
		10	・蘭亭序 ・争座位稿	
	期 末	11	・風信帖 ・楷書、行書の創作	楷書又は行書の各古典で習得した技法を生かし，創意工夫をこらして創作します。
		12	8 仮名の書の学習 ・仮名の成立と発達 ・平仮名（いろは歌）	我が国独自の文字である仮名について，成立過程と字源について理解を深めます。 また、仮名の線質を理解します。
3 学期	学 年 末	1	・変体仮名 ・高野切第３種	平仮名を中心とした上代様仮名の筆使いに慣れ，基本的な用筆法や流動美を体験します。
		2	9 漢字仮名交じりの学習（２） ・用具用材の工夫 ・全体構成の工夫	１・２・３学期の漢字及び仮名の古典の学習を基にその表現を応用した漢字仮名交じりの書の創作を行います。 詩文，形式，用具・用材，構成など工夫し漢字と仮名の調和の方法を考え，自分の感性を表現する最良の方法を模索します。
		3	・古名跡の応用	
課題提出物等		1	原則として、毎時間作品を完成させます。	
		2	授業中に完成させた作品をファイルします。	
		3	学期に２回程度実技試験（清書）を行います。	
		4	創作には、創作カードに基づいて行います。	

教 科	外国語	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	1	全 ／ 選	全
科 目	オーラルコミュニケーション								
使用教科書		NEW EDITION Voice Oral Communication 1（第一学習社）							
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	英語のリスニングとスピーキングの力を養い、英語を使用してのコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化に対する理解を深め、国際社会の中での日本人としての生き方を身につけます
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・点数評価 5 割、平常点 5 割で評価します。 ・平常点には、課題や提出物、出欠状況、授業への参加態度などを考慮します。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現技巧や語句及び語いについて、繰り返し学習し、暗唱しよう ・常に主体的に学習に取り組み、英語の運用能力を高める姿勢を大切にしよう ・リスニング中は集中して聞き、Q & Aは積極的に行いましょう ・ノート・課題・確認テストなど提出物を確実に出すようにしましょう

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで表現し、伝え合おうとしているか ・課題に意欲的に取り組もうとしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に対する参加姿勢 ・提出された課題の内容
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことに役立つ表現技巧や語句・語いを吟味し、活用しているか ・相手の立場や質問を尊重し聞くことができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやペアでの発表の状況 ・Q & Aでの会話の状況
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物をていねいに書きとめようとしているか ・書くことに役立つ表現技巧や語句・語いを吟味しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された課題の内容 ・確認テスト
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の表現技巧や語句・語いの理解を深めているか ・場面ごとのスピーチの内容を理解しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・提出物の内容

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	(1)コミュニケーションの基本的なマナーを知ろう	はずかしがらずに話し、タイミングよく相づちを入れ、積極的に話を進め、状況に応じた表現を使い、自分の意見を
		5	(2)表現や身振り・手振りで豊かに表現しよう (3)英語で話そう	はっきり言うようにします。 表情を助けるさまざまなジェスチャーや授業開始のあいさつ、出席の答え方を
	期 末	5	Lesson 1.Nice to Meet You	学びます。 話す英語の音の変化やアクセントのあることを学びます。
		6	Lesson 1. Nice to Meet You Lesson 2. What Subject Do You Like the Best?	自己紹介・あいさつ・出身地を聞く方法を学びます。 部活への勧誘をし、所属を聞いたり
		7	Lesson 3. Are You Doing Anything This Sunday?	好みを聞いたりします。 提案・勧誘する表現や承諾する表現を学び、予定を尋ねます。
2 学期	中 間	9	Lesson 4. I'll Show You the Way	道順を教え、依頼や承諾、繰り返しを求める表現を学習します。
		10	Lesson 5. On the Telephone	電話に関する表現を学びます。電話で誘ったり、約束をしたりします。
	期 末	10	Lesson 6. At a Restaurant	レストランでの表現を学びます。 ホストファミリーと電話での対応に関する表現を学習します。
		11	Lesson 7. At a Department Store Lesson 8. What's "Miso" Soup?	靴屋での買い物の仕方を学習します。 感想を聞く表現を学びます。
		12	Lesson 9. What's the Matter?	体調を聞いたり、こたえたり、同情したり、助言する表現を学びます。
3 学期	学 年 末	1	Lesson 10. Talking About the Future	機内放送の聞き取りにくいときの表現、所要時間、アジアの英語事情を聞いたりします。
		2	Lesson 11. Have a Nice Flight!	空港でチェックインするときの表現を学びます。
		3	Lesson 11. Have a Nice Flight!	
課題提出物等		1．確認テスト、練習プリント、レポートなどの提出 2．ノート提出		

教 科	外国語	単 位 数	3	学 科	普通科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	英語								
使用教科書	DAILY English Course I Revised Edition （池田書店）								
副教材等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、英語で聞いたり読んだりしたことを理解し、さらに情報や自分の考えを英語で話したり書いたりして伝えられる能力をつけます。 ・場面や目的に応じて、積極的にコミュニケーションを行う態度を育てます。 ・英語の楽しさを知り、自主的に英語を学び続けていく意欲を育てます。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 7 割、平常点 3 割を基準にして評価します。 ・平常点の内容は、小テスト・課題や提出物 ・出欠状況・授業へ取り組む態度などです。
生徒へのアドバイス	<p>語学に大切なのは、地道な努力と積極性です。毎日予習復習を行って欲しい。その時英文を声に出して読むと効果的です。また単語や基本例文の一つでも多く覚えること。単語がわかると楽しくなります。授業中でも後でも、わからないことがあったら遠慮せずに質問してください。</p>

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加し、理解しようと努めているか。 ・英語でのコミュニケーションを図ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート整理、課題や提出物 ・読みやペアワークなど授業活動への参加態度
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を正確に音読できるか。 ・英語を聞いて相手が伝えたいことを把握できるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（音読・リスニング） ・オーラルテスト ・ALT との Team Teaching での理解度
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力は身につけているか。 ・学習した表現を用いて英文を書けるか。 ・伝えたいことを英語で表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（単語） ・課題テスト ・定期考査のライティング問題
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力は身につけているか。 ・英文を読んで内容を把握できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（単語） ・授業での Q&A ・定期考査のリーディング問題
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・言語やその運用についての知識が身につけているか。 ・背景にある文化などを理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での Q&A ・レポート・定期考査の言語運用に関する問題

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい	
1 学期	中間	4	Part 1 Lesson 1 What Dreams Do You Have? 文の種類（疑問文、否定文、命令文、感嘆文） Lesson 2 Watch Those Sounds! 語の発音	日本人宇宙飛行士、若田光一さんのメッセージを読み取ります。 英語の th の発音をサンプルにして、英語の発音について学びます。 日本語と比較して、英語の読み方の特徴を学びます。	
		5	Lesson 3 Get off the Computer! ストレス、リズム、イントネーション Lesson 4 Single? 辞書の活用		
		期末	6		Lesson 5 Father's Advice 聞き取り
			7		Part 2 Lesson 1 Good-by the Sun! 文型（第 1 ～ 3 文型）
	2 学期	中間	9	Lesson 2 Japanese Is Difficult! 文型（第 4 ～ 5 文型） Lesson 3 A Word's Meaning 時制	日本語の持つあいまいさについて考えます。 接頭辞の持つ意味について学びます。
			10	Lesson 4 The Sari 受動態 Lesson 5 When Is Y our Birthday? To 不定詞	
		期末	11	Lesson 6 Water Is Everywhere, But ... 関係代名詞 Lesson 7 What Did I Leave Behind? 進行形、現在完了形	水不足を題材に環境について考えます。 電車の中でのマナーについて考えます。
12					
3 学期	学 年 末	1	Lesson 8 Do You Believe Superstitions? 助動詞	迷信を信じるかどうか、あなたはどちらでしょうか。	
		2	Lesson 9 Will These Islands Disappear? 過去完了形 Lesson 10 New Noah's Ark 不定詞を含む表現	モルジブ諸島を例に挙げて環境問題について考えます。 ノアの方舟のことにふれます。	
		3			
課題提出物等 ・入学時の課題提出 ・授業の進度に応じ、予習・復習プリントやレポートなどの提出 ・ノート提出 ・長期休業中の課題提出 ・読み、暗誦、単語等の小テスト					

教 科	家 庭	単 位 数	2	学 科	普通科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	家庭総合								
使用教科書	家庭総合 生活に豊かさをもとめて（第一学習社）								
副 教 材 等	家庭総合学習ノート（第一学習社）								

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	人の一生と家族、高齢者の生活と福祉、衣生活、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。さらに習得したことが、日常生活で応用出来るようになることを目標とします。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（１・２学期は期末考査）・・・・・・・・・・５０～６０％ ・定期考査（３学期は授業内の実技テストと練習布）・・・・５０％ ・実習（被服製作）・プリント・ノート・授業態度・意欲・・４０～５０％ ・定期考査と実習・プリント・ノート提出・授業態度を総合して評価します。 ・実技を伴う教科ですので、授業や実習へ取り組む態度を大切にします。
生徒へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、実習など様々な形態の学習活動を行いますので、積極的に授業に取り組むとともに、毎時間の授業を大切にしてください。 ・学校での学習が日常生活に活かせるようにすることが大切です。 ・被服作品やプリント、ノートの提出物は、完成を目指して期限までに提出して下さい。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいるか。 ・実践的な態度を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業の中で使用するプリント ・授業ノート（学習・板書ノート） ・被服製作の作品
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域生活について見直し、課題を見つけられるか。 ・課題の解決を目指し、適切に判断できる力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用するプリント ・授業中の意見や考えの発表内容や仕方 ・定期考査の記述問題の内容
資料活用 の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域社会を充実、向上させるために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で使用するプリント ・授業中の発表の内容や仕方 ・定期考査の記述問題の内容 ・被服製作の作品
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域生活を充実、向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	中 間	4	「家庭総合」の学習について 第1章 共に生きる 人に一生と家族・家庭 (1) 私たちの生涯と発達課題	家庭総合の授業の目標、内容や進め方、 評価方法について確認します。
		5	(2) 家族・家庭と社会	各ライフステージの課題について考え、 将来の生活への展望を持ち、青年期をどの ように生きたらよいかを考えます。 また、自分自身の生活設計を家族や社会 とかかわりながら、また、男女が相互に協 力し合うことや社会の一員として、考えら れるようにします。
	5	(3) 私たちの将来設計		
	期 末	6	第3章 豊かな生涯へ 高齢社会と福祉 (1) 高齢社会の進展と今後の展望 (2) 高齢者の生活と福祉	
		7	(3) 高齢者の自立と介護	
2 学 期	中 間	9	第4章 消費を考える 消費生活と資源・環境 (1) 私たちの暮らしと経済 (2) 消費者の権利と経済 (3) 消費生活と資源・環境	家庭の経済生活を理解しながら、現代の 消費生活の課題について認識し、消費者と いての自立を目指します。そのために意識 決定の大切さや消費行動が環境に与える 影響等を考え、環境に配慮した生徒自身の ライフスタイルが築けるようにします。
		10	第6章 装う 衣生活の科学と文化 (1) 人と衣生活 (2) 被服材料	人間の生活を支える「衣」を先人の知恵 と科学・文化の視点からとらえ、さらに実 践・実習を通して広く学び、充実した生活 が送れるようにします。 また、生活と環境との関わりを考え日々 の生活で実践できるようにします。 衣生活の管理、特に日常着の洗濯や保管 ができるように学習します。 被服製作では、日常生活で応用できるよ うにまつり縫い・ボタンつけ・ミシン縫い を習得し、活用できるようにします。 さらに、二年生の調理実習で使用するた めのエプロンを製作し、基礎縫いの成果を 確認します。 また、作品が完成し授業で学んだ知識・ 技術の最終成果として、実技テストを実施 し、理解できていない箇所を自分でも確認 することで、確実に習得できるようにしま す。
	11	(3) 被服の選択と管理 (5) 被服製作 基礎縫い(まつり縫い・ボタンつけ)		
	期 末	12	基礎縫い(スナップ・カギホックつけ)	
3 学 期	学 年 末	1	基礎縫い(ミシン縫い) エプロンの製作	また、作品が完成し授業で学んだ知識・ 技術の最終成果として、実技テストを実施 し、理解できていない箇所を自分でも確認 することで、確実に習得できるようにしま す。
		2	エプロンの製作・提出 実技テストの練習	
		3	実技テスト (まつり縫い・ボタンつけ・ミシン縫い)	
課題提出物等				
・授業ノート(学習・板書ノート)・プリント・製作物の提出物。 ・基礎縫い練習布・被服製作(エプロン)などの被服実習代として1,500円徴収させていただきます。 ・いずれも完成させて期日までに提出することを目指し、全員が取り組んでいきます。				

教 科	情報	単 位 数	2	学 科	普通科 健康スポー ツ科	学 年	1	全 / 選	全
科 目	情報 A								
使用教科書		高等学校 三訂版 情報 A (第一学習社)							
副 教 材 等									

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な方法で問題解決ができるようにします。 ・ 情報化社会にふさわしいモラルを身につけます。 ・ コンピュータやネットワークを利用して適切に情報収集、処理、発信ができる技能を修得します。
評 価 方 法	各学期とも <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 5 0 %、 ・ 課題および発表 4 0 %、 ・ 授業への参加態度 1 0 % でおこないます。
生徒へのアドバイス	この授業はコンピュータの操作を覚えることが目的ではないので、背景や考え方を理解しましょう。 授業時間の前部 5 分から 10 分程度をソフトウェア自習の時間とします。その時間を有効に使ってスキルアップを図りましょう。

2 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を真剣に受けているか。 ・ 教材をきちんと用意しているか。 ・ 積極的に発言、発表できたか。 	毎回の授業で確認する。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じた適切な手段や方法を用いることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 課題の作成過程で評価する ・ 提出された課題で評価する
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種のソフトウェアが適切に使用できているか。 ・ 目的に応じたソフトウェアが使用できるか。 ・ 必要な技能が身に付いているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の製作過程で評価する ・ 提出された課題で評価する ・ 自己評価および相互評価をする ・ タイピング練習ソフトで評価する
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決、情報収集・発信のための基礎的な知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業中の小テスト

3 学習計画等

学期	考査	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	中 間	4	PC室の使い方、個人ごとのコンピュータ設定 基本的なソフトの使い方 序章	これから使っていくコンピュータの使用方法 を学び、個人ごとの設定を行います。
		5	第1章情報を活用するための工夫と情報機器 第1節 問題解決の工夫	情報収集の方法やスプレッドシートの利用を 学び、問題解決にどのようにコンピュータを利用 するか学びます。
	期 末	5	第2節 情報伝達の工夫 「企画書」の作成と発表	ワードプロセッサの利用を通じて、文書を使 って情報を効率よく伝達する方法を学びま す。 文字情報だけでなく、表やグラフ、画像を付 け加えることによってより表現が豊かになる ことを学びます。
		6		
		7		
	2 学期	中 間	9	第2章情報の収集・発信と情報機器の活用 第1節 インターネット
10			第2節 ウェブページの仕組み 情報の検索 情報の発信	検索エンジンの使い方を勉強します。 自分のウェブページを作り、情報の発信の仕 方を学びます。
期 末		10	第3節 情報の収集・発信における問題点	ネットワーク上の情報の特性を学びます。 著作権や肖像権について勉強します。
		11	第3章情報の統合的な処理 とコンピュータの活用 第1節多様な情報の統合 第2節コンピュータを利用した プレゼンテーション	デジタル化する意味を理解します。 画像を取り扱います。 音や動画など、情報を統合して扱う方法を学 びます。
		12		
		3 学 期	学 年 末	1
2	第4章情報機器の発達と生活の変化 第1節 情報機器の発達と仕組み 第2節 情報化の進展と生活の変化			情報機器の仕組みについて学びます。
3	第3節 情報社会への参加と 情報技術の活用			テクノストレス、デジタルデバイド等情報化社 会の影の部分について学びます。
課題提出物等				
・ 項目ごとに作品(を提出します。提出方法はその作品ごとにサーバへのアップロードであったり、 電子メールへの添付だったりさまざまです。 ・ 公開する作品については、クラスメイトの作品と自分を評価した評価シート。 ・ 著作権と肖像権に関しては授業中にアンケートや小テストを行います。 ・ 定期考査前後にタイピング練習ソフトのテストを行います。				